

施策評価調書(2年度実績)

政策体系	施策名	食の安全・安心の確保	所管部局名	生活環境部	施策コード	I-5-(4)
	政策名	安全・安心を実感できる暮らしの確立	関係部局名	生活環境部、農林水産部	長期総合計画頁	53

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	食の安全・安心の確保対策の推進	食品取扱事業者などに対する衛生管理体制の推進	安全・安心な農林水産物の供給体制の充実

【Ⅱ. 目標指標】

	指 標	関連する取組No.	基準値		2年度			6年度	目標達成度(%)						
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125		
i	食中毒発生件数(件以下)	②	H26	11	8	2	175.0%	6	■	■	■	■	■	■	■
ii	食品営業許可施設のHACCP導入率(%)	②	H30	0.2	97.7	88.9	91.0%	100	■	■	■	■	■	■	■

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理由等	平均評価
i 達成	新型コロナウイルスの影響により飲食店がより一層の衛生対策を実施したことや、消費者が積極的に手洗い、手指消毒を行った結果、目標値を達成した。	達成
ii 概ね達成	ワークショップ型セミナーに加え、個別指導や手引書資料の個別発送、インターネットによる衛生管理計画の作成指導により、概ね目標値を達成した。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・新規に食品表示に関係する事業者等を対象に、法令周知のための食品表示の研修会を開催し、新たに46名の食品適正表示推進者を育成した。 ・事業者を対象に、アレルギー対策に関する講習会や食品表示相談会等を5回実施した。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・県内(津久見・豊後大野・大分市)の輸出水産製品製造、漬物製造、椎茸加工におけるHACCP導入モデルを創設し、各製造業界におけるHACCP周知を図った。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・こねぎを中心にJGAP認証農家数が増加し、青果物部門全国第2位を維持した。 ・農業大学校及び農業高校8校がJGAP以上の認証を取得したことで、将来の担い手がGAPを学べる環境が整備された。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(2年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②	食の安全・安心推進事業	—	102
②	おおいたHACCPトータル支援事業	107.7	102
③	環境に配慮した農業定着化推進事業	104.2	103
	GAPを活かす産地育成事業	102.3	170

【VI. 施策に対する意見・提言】

<ul style="list-style-type: none"> ○「令和2年度HACCPワークショップ型セミナー」の参加者意見 ・HACCP計画(衛生管理計画)を作って記録しているが、合っているか不安である ・店に見に来て教えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ○第2回大分県食品安全推進県民会議(R3.3) ・牛肉の産地不適表示事例等も発生しているため、今後も注意喚起を積極的に行い、再発防止に努めてほしい。
---	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・食品適正表示を推進するため、引き続き新規事業者等を対象に法令周知等の講習会を行うとともに、不適正表示事業者を対象に適正化のための講習会を実施する。あわせて、消費者に対しても、食品表示やアレルギーなど正しい知識や理解の習得を促すため、講習会や事業者との意見交換会により食の信頼性確保に繋げる。 ・食の安全を確保するため、現地調査や個別相談などのフォローアップにより食品事業者のHACCPの定着を図る。 ・マーケットの変化に対応できる産地を育成するため、団体認証の推進や認証取得による経営改善効果等の見える化により、JGAP認証のさらなる拡大を図る。 ・地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い農業生産活動を推進するため、化学肥料や化学合成農薬の低減等による環境保全型農業の取り組みを支援する。